

石動男子 北信越 2位で全国へ

～第47回北信越高等学校選抜ホッケー大会～



↑北信越2位で全国出場を決めた男子ホッケー部の選手ら

→石動の1点目を
決めた荒井選手
(35H・中央左)



→石動の2点目
を決めた天野選
手(14H・左)



男子保護者代表の宮西さんは、「結果は残念だったが最後まで諦めずに戦っていた。全国選抜でも頑張つて結果を残してほしい」と期待を込めて語った。

結果残してほしい



↑2位の賞状を受け取る太田選手(35H)

11月6日、3日間、新潟県の新潟市城山運動公園ホッケー場で、第47回北信越高等学校選抜ホッケー大会の決勝戦が行われた。石動高校男子ホッケー部は、福井県の丹生高校と対戦し、2-4で敗れたものの、全国大会の出場権を手に入れた。

何とか持ちこたえた

GKの宮西主将(35H)は、第2クォーターで石動高校の攻撃が活性化し理由について、「休憩に選手で話し、監督やコーチからの助言を活かせあったからだ」と語った。これからの練習で特に力を入れたいことを聞くと、「今回はボールを上にあげるスクープパスを使ったが、まだ上下のパスの使い分けが定着していないので改善したい」と、真剣な表情で語った。

ゲームキャプテンの太田選手(35H)は、「立ち上がりから丹生高校の勢いに押されて3失点してしまつたが、その後2点取り返すまでなんとか持ちこたえることができてよかった」と今回の試合を振り返り、「選抜大会が高校最後の試合になるので、一つ一つの練習を大切にしてモチベーションを上げていきたい」と意気込みを語った。